



市民による行政評価を！

行政に対する外部評価について

議員

行政の資質の向上と市民の行政への関心を高めることを目的として、外部評価制度の導入を提唱する。市民の目線にさらされることにより、職員意識向上が見込め、数多くのデータを取ることから正確な評価が得られるものと思う。現在の行政に対する評価は、どの部署がどのように行っているのか。

企画部長

まず担当部署が評価し、担当部署以外の職員で構成された行政改革推進委員会で評価、最後に市長を本部長とした行政改革推進本部で1次評価を確定する。その後外部評価として、市内の有識者による行政改革懇談会を開催し、再度行政改革推進本部で最終評価を確定している。

議員

外部評価と言っても、毎年同じような一部の人では外部評価とは言いがたい。常総市の全戸の方から行政評価を聞いてもらいたいと思うがどうか。

企画部長

20年度から行政評価を実施してきたが、常に改良を加えていく。ご提案の内容も考慮しながら、よりよい行政評価をつくっていきたくと考えている。

議員

通信簿のような評価を課ごとに付けていくことを考えている。何を基準にするかが課題となると思うが、行政、議会、市民代表で検討委員会のようなものを立ち上げて評価基準をつくり、検討を行う。年1回実施していただきたいと思うがどうか。

市長

市民の評価をいただく手段として行政改革懇談会があるが、これをもっとより効率的に幅広く市民の声を聞けるような仕組みというものを、議員の提案も含めて検討していきたい。



日 曜 日 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 日 曜 日

スピーディに解決へ



常総市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン総合戦略についての実施計画について分野ごとに尋ねる



議員

方式を採用している。新しい人の流れをつくる施策について、やはり財政負担をしなければならぬと考えるがどうか。

企画部長

選択と集中を明確にして進めていきたい。

議員

若い世代の結婚、出産、子育てをかなえるための計画は。

市民生活部長

ふれあいサポーター事業により、1組でも多く成婚できるように取り組んでいく。

保健福祉部長

待機児童ゼロを目標にスピード感を持って取り組んでいく。

議員

待機児童の問題は早急にクリアしないといけない。1年前倒しし、29年度に実施計画ができるような体制にしたらどうか。

保健福祉部長

鋭意努力していく。

議員

早く予算を設定し、実施計画をしていただきたい。

市長

公約と総合戦略を鑑みながら、積極的に予算化を進めていきたい。

企画部長

雇用の創出を図るため、地区計画を策定しているが、企業が進出していない。インフラ整備を計画に取り込み財政負担していかねばならないのでは。

進出時期に合わせて整備する

議員

安定した雇用創出の戦略の実施について尋ねる。

企画部長

圏央道インターチェンジ周辺の開発等を主なテーマとして掲げて進んでいるところである。

議員

雇用の創出を図るため、地区計画を策定しているが、企業が進出していない。インフラ整備を計画に取り込み財政負担していかねばならないのでは。

企画部長

進出時期に合わせて整備する